

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : シアン化カリウム

製品名 : DCA HbA1c コントロール

品目コード : 5068A

シーメンスコード : 10311161

会社名 : シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

住所 : 東京都品川区大崎 1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー

電話番号(緊急連絡電話番号) : 03-3493-8400 カスタマーケアセンター

作成日 : 2017/04/01

版番号 : 1

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 溶解液
 コントロールN / コントロールH
 分類されていない。
 生殖細胞変異原性－区分1B
 発がん性－区分1B
 水生環境有害性(急性)－区分1
 水生環境有害性(長期間)－区分1

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 溶解液
 コントロールN / コントロールH
 注意喚起語なし
 危険

絵表示又はシンボル :



危険有害性情報 : 溶解液
 コントロールN / コントロールH
 該当せず

遺伝性疾患のおそれ。
 発がんのおそれ。
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策 : 溶解液
 コントロールN / コントロールH
 該当せず
 使用前に取扱説明書入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。保護眼鏡又は保護面を着用すること。保護手袋／衣類を着

応急措置	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	用すること。環境への放出を避けること。 該当せず 漏出物を回収すること。ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の手当てを受けること。
保管	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	該当せず 施錠して保管すること。
廃棄	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	該当せず 内容物及び容器は国及び地域の規制に従い廃棄ください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名	濃度又は濃度範囲(%)	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)	労働安全衛生法
コントロールN / コントロールH シアン化カリウム	≤0.10	151-50-8	(1)-1086	データなし

ばく露限界がある場合、セクション8に記載されています。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

眼に入った場合	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。 すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場

皮膚に付着した場合	: 溶解液	合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移しで人工呼吸蘇生術を行うと、救助者に危険が及ぶことがある。医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。
	コントロールN / コントロールH	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服及び靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
		多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服及び靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。
飲み込んだ場合	: 溶解液	水で口を洗浄する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
	コントロールN / コントロールH	水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。医師の診断を受ける。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の

応急措置をする者の保護	： 溶解液	人的リスクを伴うような行動、又は適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
	コントロールN / コントロールH	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険が及ぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、又は手袋を着用する。
医師に対する特別な注意事項	： 溶解液	症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
	コントロールN / コントロールH	症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
特定の治療法	： 溶解液	特定の治療法はない。
	コントロールN / コントロールH	特定の治療法はない。

有害性情報については、セクション 11 を参照ください。

5. 火災時の措置

消火剤

- 消火剤** : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 不適切な消火剤** : 認知済みのものは無し。
- 火災時の措置に関する特有の危険有害性** : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に対して有毒であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
- 有害な熱分解生成物** : 特にデータは無い
- 消防士用の特別な防具と予防措置** : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消火を行う者の保護** : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 緊急時要員以外の人員用** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時の責任者用** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション 8 に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
- 環境に対する注意事項** : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌又は大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。
水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。漏出物を回収すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量流出** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量流出** : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。放出現場には風上から近付くこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、バーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(セクション13を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こす可能性がある。注意: 接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照ください。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

- 保護措置** : 適切な個人保護具を使用すること(セクション 8 を参照) ばく露を避けること—使用前に取扱説明書を手入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。摂取してはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。環境への放出を避けること。当物質の通常取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉し

- て保存する。容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。容器を再利用してはならない。
- 一般的な職業衛生に関する助言** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション 8 の衛生措置に関する追加情報も参照。
- 安全に保管するための注意事項** : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション 10 を参照)及び飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度** : 3mg/m³(シアンとして)
- 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)**
- 日本産衛学会** : 5mg/m³ (シアンとして)(最大許容濃度)常時この温度以下に保つこと。(皮膚吸収性あり)
- ACGIH** : TLV-TWA 5mg/m³ (シアンとして)(天井値)(皮膚吸収性あり)
- 設備対策** : 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。高熱工程で粉じん、ヒューム、ミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗面器と安全シャワーを設置すること。
- 環境ばく露管理** : 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げのために煙霧清浄機やフィルター、あるいは工程装置の技術的改良が必要になることもある。
- 保護具**
- 呼吸器の保護具** : シアン化カリウム:適切な呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク、高濃度の場合:送気マスク又は空気呼吸器等)を着用すること。
- 手の保護具** : シアン化カリウム:製造業者又は当局が指定する保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具** : 適切な眼の保護具を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具** : 適切な顔面用の保護具、衣類及び防護靴等を着用すること。
- 衛生対策** : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	液体 固体
色	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	無色 茶色がかった赤色
臭い	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	無臭 無刺激
臭いのしきい(閾値)	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	本製品の性質上、関係なし/ 該当せず 本製品の性質上、関係なし/ 該当せず
pH	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	該当せず 該当せず
融点・凝固点	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし データなし
沸点・初留点及び沸騰 範囲	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし データなし
引火点	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし データなし
燃焼点	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし データなし
蒸発速度	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	本製品の性質上、関係なし/ 該当せず 本製品の性質上、関係なし/ 該当せず
燃焼性(固体、気体)	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	本製品の性質上、関係なし/ 該当せず 本製品の性質上、関係なし/ 該当せず
燃焼又は爆発範囲の 上限および下限	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	本製品の性質上、関係なし/ 該当せず
蒸気圧	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし データなし
蒸気密度	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	本製品の性質上、関係なし/ 該当せず 本製品の性質上、関係なし/ 該当せず
比重(相対密度)	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	1 本製品の性質上、関係なし/ 該当せず
溶解度	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	本製品の性質上、関係なし/ 該当せず 本製品の性質上、関係なし/ 該当せず

水への溶解度	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	該当せず 本製品の性質上、関係なし/ 該当せず 本製品の性質上、関係なし/ 該当せず
n-オクタノール/水分 配係数	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし
自然発火温度	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし
SADT	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし
分解温度	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし
粘度(粘性率)	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし
燃焼時間	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	該当せず データなし
燃焼速度	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	該当せず データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。 この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	製品は安定である。
危険有害反応可能性	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	製品は安定である。 通常の貯蔵及び使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	通常の貯蔵及び使用条件下では、有害な反応は起こらない。 特にデータは無い。
混触危険物質	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	特にデータは無い。
危険有害な分解生成物	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	特にデータは無い。 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。
		通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品／成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
コントロールN / コントロールH シアン化カリウム	LD50 経口	ラット	5 mg/kg	—

結論/要約 : 溶解液 データなし
コントロールN / コントロールH

刺激性/腐食性

データなし

結論/要約

皮膚 : 溶解液 データなし
コントロールN / コントロールH データなし

眼 : 溶解液 データなし
コントロールN / コントロールH データなし

呼吸器系 : 溶解液 データなし
コントロールN / コントロールH データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

結論/要約

皮膚 : 溶解液 データなし
コントロールN / コントロールH データなし

呼吸器系 : 溶解液 データなし
コントロールN / コントロールH データなし

生殖細胞変異原性

データなし

結論/要約 : 溶解液 データなし
コントロールN / コントロールH データなし

発がん性

データなし

結論/要約 : 溶解液 データなし
 コントロールN / コントロールH データなし

生殖毒性

データなし

結論/要約 : 溶解液 データなし
 コントロールN / コントロールH データなし

催奇形性

データなし

結論/要約 : 溶解液 データなし
 コントロールN / コントロールH データなし

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	カテゴリ	ばく露経路	標的器官
コントロールN / コントロールH シアン化カリウム	区分 2	未確定	中枢神経系(CNS)

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	カテゴリ	ばく露経路	標的器官
コントロールN / コントロールH シアン化カリウム	区分 2	未確定	心臓 中枢神経系(CNS)、腎臓、肝臓、脾臓及び甲状腺
	区分 1	未確定	

吸引性呼吸器有害性

データなし

可能性のあるばく露経路 :
 路についての情報

起こりうる急性毒性

眼に入った場合 : 溶解液 重大な作用や危険有害性は知られていない。
 コントロールN / コントロールH 重大な作用や危険有害性は知られていない。

吸入した場合 : 溶解液 重大な作用や危険有害性は知られていない。
 コントロールN / コントロールH 重大な作用や危険有害性は知

皮膚に付着した場合	:	溶解液 コントロールN / コントロールH	られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	:	溶解液 コントロールN / コントロールH	重大な作用や危険有害性は知られていない。 重大な作用や危険有害性は知られていない。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

眼に入った場合	:	溶解液 コントロールN / コントロールH	特にデータは無い。 特にデータは無い。
吸入した場合	:	溶解液 コントロールN / コントロールH	特にデータは無い。 特にデータは無い。
皮膚に付着した場合	:	溶解液 コントロールN / コントロールH	特にデータは無い。 特にデータは無い。
飲み込んだ場合	:	溶解液 コントロールN / コントロールH	特にデータは無い。 特にデータは無い。

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期のばく露による慢性的な影響

短期ばく露

潜在的な即時性作用	:	溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし データなし
潜在的な遅発性作用	:	溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし データなし

長期ばく露

潜在的な即時性作用	:	溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし データなし
潜在的な遅発性作用	:	溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし データなし

健康への慢性効果の可能性

データなし 結論/要約	:	溶解液	データなし
----------------	---	-----	-------

	コントロールN / コントロールH	データなし
概要	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	重大な作用や危険有害性は知られていない。
発がん性	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	重大な作用や危険有害性は知られていない。 発がんのおそれ。がんのリスクは、ばく露の期間及びレベルによって異なる。
変異原性	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	重大な作用や危険有害性は知られていない。 遺伝性疾患のおそれ。
催奇形性	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	重大な作用や危険有害性は知られていない。
発育への影響	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖能力に対する影響	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	重大な作用や危険有害性は知られていない。
毒性の数値化 急性毒性の推定 データなし		
相互作用	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし
その他の情報	: 溶解液 コントロールN / コントロールH	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品名／成分の名称	結果	種類	ばく露時間
コントロールN / コントロールH			

シアン化カリウム	急性 EC50 0.331mg/l 真水	藻類－Chlamydomonas reinhardtii－指数増殖期	72 時間
	急性 LC50 64.4µ g/l 海水	甲殻類－Cancer irroratus－ゾエア	48 時間
	急性 LC50 1µ g/l 真水	ミジンコ類－Daphnia pulex	48 時間
	急性 LC50 0.03mg/l 海水	魚類－Rachycentron canadum－幼体	96 時間
	慢性 EC10 0.158mg/l 真水	藻類－Chlamydomonas reinhardtii－指数増殖期	72 時間
	慢性 NOEC 0.05mg/l 真水	魚類－Clarias gariepinus－成体	4 週

結論/要約 : 溶解液 データなし
 コントロールN / コントロールH データなし

残留性・分解性

結論/要約 : 溶解液 データなし
 コントロールN / コントロールH データなし

生体蓄積性

製品名／成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
コントロールN / コントロールH シアン化カリウム	—	3.162	低

土壤中の移動性

土壤/水分配係数(Koc) : 溶解液 データなし
 コントロールN / コントロールH データなし

移動性 : 溶解液 データなし
 コントロールN / コントロールH データなし

オゾン層への有害性 : 該当せず。

他の有害影響 : 溶解液 重大な作用や危険有害性は知られていない。
 コントロールN / コントロールH 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性

汚染容器及び包装 : を十分告知の上処理を委託する。
 容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

UN		
国連番号	溶解液	規定なし
	コントロールN / コントロールH	規定なし
品名(国連輸送名)	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
容器等級	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
環境有害性	溶解液	該当せず
	コントロールN / コントロールH	該当せず
追加情報	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
IATA		
国連番号	溶解液	Not regulated.
	コントロールN / コントロールH	Not regulated.
品名(国連輸送名)	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
容器等級	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
環境有害性	溶解液	No.
	コントロールN / コントロールH	No.
追加情報	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
IMDG		
国連番号	溶解液	Not regulated.
	コントロールN / コントロールH	Not regulated.
品名(国連輸送名)	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-

国連分類(輸送における危険有害性クラス)	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
容器等級	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
環境有害性	溶解液	No.
	コントロールN / コントロールH	No.
追加情報	溶解液	-
	コントロールN / コントロールH	-
使用者のための特別な予防措置	溶解液	使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。
	コントロールN / コントロールH	使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当せず
労働安全衛生法 〔名称等を通知すべき危険物及び有害物〕	該当せず
労働安全衛生法 〔名称等を表示すべき危険物及び有害物〕	該当せず
毒物及び劇物取締法	該当: 毒物 (指定令第1条)

16. その他の情報

参考文献

「厚生労働省 職場の安全サイト GHS対応」

・JIS Z 7253 : 2012、JIS Z 7252 : 2014

記載内容は現時点で入手できる情報、データに基づいて作成しております。ただし、記載されている情報の正確さ、完全性については保証するものではありません。

全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。このSDSには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。

また、記載内容は通常の取り扱いを対象としたものであり、指定されていない方法で使用した場合や、指定されていない物質と混合して使用した場合は、有効ではありません。